

(参考様式4)

事業所名グループホーム秋穂あかり園

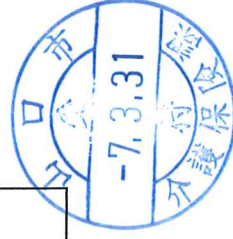
作成日：令和 7年 3月 30日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容
1	12	職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握したうえで、職員を育てる取り組みが出来ていない	職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、業務を行いながら職員がスキルアップできる具体的方法の確立	・職員一人一人の課題の把握 ・OJT研修を取り入れ、業務の中で学べる環境を作る
2				
3				
4				
5				

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。



自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I 理念・安心と安全に基づき運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に上げている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の理念を事業所の理念としている。それに基き年度ごとに目標をユニット毎に定めて、理念と一緒に掲示している。目標は職員の目に留まる業務日誌に記載している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりが暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お大師参りや初詣に参加した。中学生職場体験の受け入れや、小学校・中学校へ福祉体験の講座へ行き、認知症への理解や支援の話が出来たように思う。近所のスーパーに買い物へ行ったりはしているが、地域の一員として日常的に交流は出来ていない。また、昨年度から運営している認知症カフェへの参加が出来ていないので、参加への検討をしていきたい。	お大師参り等で地域の方々と接する事や話すことだけでも違う。中学生の職場体験でも交流できる。若い人と触れ合うのは大切だと思う。認知症カフェを活用して地域の方々と関わり、認知症へ理解を深めていく。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	議事録にまとめ、会議等で報告し職員に周知してもらい、サービス向上に活かしている。昨年度運営推進会議内にて外部評価を実施したことで、詳細に報告できた。また、今年度は委員の方に消防訓練を実際に見学して頂いた。	運営推進会議をグループホームで行い、グループホームの日常を知ってもらふ事を検討 事故報告などの報告を行い、困っていることにも対しても話し合えるようにする		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の担当者・地域担当の地域包括支援センターと情報交換して連携をとっている。	日頃から密に連絡を取り合っている		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	隣接施設と合同で行う身体拘束廃止委員会にも出席し、事業所の会議で復命をしている。スピードチェックについて気になる場合は、管理者や計画作成が注	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		

				意するだけでなく、職員間でも注意しあっている。玄関には施錠せず、外出したい利用者がいれば一緒に出かけている。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コンプライアンスルールの中で、具体的な行為について明記されており、事務所内に掲示している。内部研修を行ない職員の資質向上に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		色々な研修を行っている
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	権利擁護について講演を聞く機会があったが、充分に理解ができていない。権利擁護を利用する利用者が入居されているので、学ぶ機会を増やし、職員の理解を深めていきたい。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設の概要や料金など、インフォメーションの冊子を準備し説明を行っている。契約の締結、解約又は改定の際は利用者や家族とじっくり話し、説明する機会を設けている。不安や疑問点を尋ねるとともに、不安な点があれば連絡いただくよう伝えている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に苦情受付や、第三者委員の説明を行っている。LINEを家族との通信手段として取り入れられている。利用者からの意見要望は、話しやすい雰囲気づくりに努め、聞いた内容はユニット会議で話し合い、よりよい関係作りに努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は毎月の全体会議の中で、意見交換を行なっている。要望を聞く機会を設けている他、日常業務で話し合える雰囲気作りに努めている。			

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の体調等、配慮された勤務体制にはなっているが職員不足が続いている。研修等は施設負担にて参加している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	資格取得に向けて研修に参加している職員がいるが、一人ひとりのケアの実際と力量を把握したうえでの研修についてはまだまだ不十分である。外部研修への参加もあまり出来ていない。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	していかなければいけない課題
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修や双方の運営推進会議に参加して意見交換するなど、交流の機会を少しずつ増やしている。			
14	本人と共に通い支えあう関係を築いている	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅の延長だと思えるように、職員と利用者という関係ではなく、一緒に生活しているという思いの元、お互いが感謝し合える関係作りを築けるよう努力している。生活の知恵、風習、地域のこゝと等を職員が教わる場面も見られる。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	県内外からの面会が実施できている。自宅や馴染みの場所へドライブに行ったり、法事への出席、ご家族との外出・外食も行っている。移動販売を利用し、仲の良い人々と交流できるようにしている。	認知症カフェにグループホームの利用者さんにも利用できるようになしていく		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	思いを伝えやすい環境を作り、生活の中で話されたこと、喜ばれたことなどを「ケース記録」に記入して、希望や意向の把握に努めている。困難な場合は、発言や言			

				勢とはいえない。入居前から他院をかかりつけ医としていた方は、本人・家族も納得し入居前と同じ病院を受診をしている。家族の事情に応じて訪問診療、職員対応での受診等柔軟に対応している。また、ご家族の希望にてマッサージを受けている方もいる。				
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には家族了解のもと病院に情報を伝えている。地域運搬室との連携を取り合うことで、退院時も安心できる受け入れ体制作りに努めている				A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に、事業所で行える対応について説明し、又実際に重度化した場合は家族との話し合い、主治医や職員等の話し合いを経、方針を決め、取り組むこととしている。何かあればその都度話し合いをしている。				A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほぼできていない D. ほとんどできていない	隣接施設合同で月1回定期的に事故防止検討委員会を行いヒヤリハットや事故報告などを行い情報共有し事故防止に努めている。 内部研修や拠点研修で応急手当や初期対応の訓練を行ってはいけるが、全職員が実践力を身につけるまでには至っていない。 今年度は運営推進会議の中で消防訓練を実施した。				
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほぼできていない D. ほとんどできていない	同一敷地内の特別養護老人ホームやケアハウスと共に防災訓練を実施している。地域にある消防署と連携はあるが、地域との協力体制は今後の課題である。	災害があった時の地域の受け方々を受け入れられる体制も考えていく 地域との協力体制を築くのが課題			A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほぼできていない D. ほとんどできていない

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重 とプライバシーの 確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ バシーを損ねない言葉かけや対応をして いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事介助が必要な方に配慮した 席にしたり、声かけの大きさや言 葉遣いに気をつけるようにしてい るが、指示的な声掛けになってし まう時があった。職員一人ひとりの 意識づけが必要である。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
27	日々のその人らし い暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりの日常生活における希 望や意向、暮らしのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴時間や食事・起床時間等、 なるべく本人の希望に沿うよう努 めているが、職員の都合で行って いることもある。	
28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と 職員が一緒に準備や食事、片付けをして いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は三食、事業所で調理して いる。朝食は利用者の好みを聞 いて、買い物へ行き調理してい る。昼食と夕食は隣接施設の管 理栄養士が作成した献立を見な がら調理している。準備・味付け・ 盛り付け・片付けまで能力に応じ 一緒にやっている。食事の前に は、利用者からの要望で、献立 の紹介、皆さんで「いただきます」 と唱和し、食事を始めるようにし ている。誕生日会、おやつ作り 等、食事が楽しみなものになるよ う支援している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
29	栄養摂取や水分確 保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昼食・夕食については管理栄養 士が献立を立てている。食事摂 取量については毎食チェックしてい る。必要に応じて刻み食を提供し ている。食事量の少ない方には、 栄養補助食品や野菜ジュースな どを提供している。水分摂取量の チェック表を作り、摂取量を把握 している。	

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、声掛けや介助にて口腔ケアを実施している。夜間は義歯を預かり洗浄・消毒を行っている。訪問歯科の活用を行ない口腔ケアに努めている。別に月1度歯科衛生士の訪問があり、口腔機能維持管理にかかわる助言を受けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表にて排泄パターンの把握に努めている。必要に応じて定期的にトイレ誘導を行い、排泄、パットの状況確認を行っている。日頃から水分摂取を促し、ヨーグルトや野菜ジュース、バナナ等を活用して、なるべく糞に頼らないようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日入浴できるようにしている。入浴の日や時間は希望を出るだけ聞かせるようにしているが、夕方以降の入浴はほとんど実施できていない。利用者の状態に応じて、滑拭・シャワー浴・足浴等の対応もしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休憩したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活習慣に合わせて、日中横になりた方には横になっていただいている。エアコンの活用をしたり、夜間不安な時はじっくり話を聞いたり、その情報を職員間で共有し、対応を検討している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お薬手帳、処方の内容を書いた用紙を個人別に分けて職員間で確認できる状態にしている。翌日分を夜勤者がセットし、退出が再チェックを行ない、服薬時の確認、服薬後薬袋の確認と4回チェックしている。薬の変更があった場合には、薬による変化がないか職員同士で把握・連携をとり、		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	チェック体制がしっかりしていて、服薬ミスを防ぐ対策がしてある

				必要時には医師に相談している。			
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている <u>B. ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理、裁縫、洗濯、カラオケ、塗り絵、貼り絵、テレビ視聴、YouTube からの懐かしの番組や体操、生け花、移動販売車による買い物、おやつ作り、料理作り、季節の行事、家事作業等好きだったことや以前やっていたことを把握し役割・楽しみをもっていたにしている。庭に花を植えたり、畑を作り野菜作りを提供している。	外出した方、好きな方についての外出支援が課題		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 十分にできている <u>B. ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域行事への参加、買い物、外食などの他、家族の方と一緒に外出等行っている。数地内の散歩の希望があったときや、外へ出られた時は付き添うようにしている。	ご家族が不安なく本人と外出できるようにサポートを今後も続けていく		
37	お金の所持や使うことでの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるよう支援している	A. 十分にできている <u>B. ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族からの預かり金を事務所で管理し、随時使えるようにしている。所持したい方については家族了解のもと持っていたき、移動販売車での買い物時は自分で支払われている。支払いが困難な方については、ほしい物を自由に選んでいたき、職員が支払いをしている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人へ本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている <u>B. ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話を使用している方に関しては、かけかたや受け方が分からないときには説明している。またかかってきた電話や、電話をかけたいと申し出があった場合には電話を繋いでいる。手紙が届いたときには、理解が難しい方に			

				は一緒に読み、可能な場合には 返事を書いている。					
39	居心地のよい共用 空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわ かる力を活かして、安全かつできるだけ 自立した生活が送れるように工夫してい る。共用の空間が、利用者にとって不快 や混乱をまねくような刺激がないように配 慮し、生活感や季節感を採り入れて、一 人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫 をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレや廊下にはですりがある。 迷ってしまう方のために、トイレや 居室が分かるように表示してい る。利用者の作った貼り絵や季節 感のある飾り、行事の写真を掲 示している。空間作りにのれんや カーテンを活用している。対面式 の台所で家事を一緒にしたりする ことで、生活を共にしていると感じ ていただいている。テレビの周り や廊下に椅子やソファがあり、 利用者が思い思いにくつろげるよ うにしている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者と作成した貼り絵や作品が飾っ てあり、季節も感じる事が出来る 雰囲気がとてもよい			
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)									
40		本人は、自分の思い、願い、日々の 暮らし方の意向に沿った暮らしができ ている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	思いや願い等、意見を言いやす い環境作りに努め、意向に沿った 暮らしが出来るように努めている が、それぞれの意向に沿っている か、言葉にできない方の意向をく み取っているかなどあればあまり出 来ていない					
41	本人主体の暮ら し	本人は、自分の生活歴や友人関係、 暮らしの習慣、特徴など様々な情報 をもとに、ケア・支援を受けることがで きている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族、入居前のケアマネ ージャーからの情報を元に支援し ている。面会を制限なく受け入れ たり、近隣施設からの入居者に は友人に会える機会を作ってい る。					
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全 面・環境面について、日々の状況をも とに、ケア・支援を受けることができて いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝のバイタル測定や、日頃の 様子を職員間で共有し、必要に 応じて専門医の受診や往診(齒 科含む)を利用している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				

43	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各利用者のペースに合わせて、臥床する時間や自室で過ごす時間を作る等、生活習慣に合った過ごし方が出来るように努めている。			
44	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室には、自宅にあったものや使い慣れたもの、なじみのある物等、自由に持ち込んでもらっている。			A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
45	本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員からの提供による場合が多いが、利用者からの発言で外出する時もある。利用者の意向や希望に沿って、外出や外食、地域の行事に参加している。			
46	本人は、自分ができること、できないこと、わかること、わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の利用者に合わせ、出来ることを提供し、役割が持てるようにしている。感謝の言葉も伝えて、生活の中でハリや充実感を持てるようにしている。			
47	本人が持つ力の活用 本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気の合う利用者と一緒に過ごせるよう配慮したり、職員を交えて会話をしたり活動する時間を設けている。塗り絵やドリル、裁縫、園芸活動等の家事作業、季節ごとの行事への参加等出来ることを提供し、活動場面を得ている。			A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
48	本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	屋外に出た時に出会う人との交流はあるが、関わる機会は少ない。昨年度から運営している認知症カフェへの参加を検討していきたい。	グループホームの立地的に地域の人々と日常的に交流することが難しい。認知症カフェに関わっていきけるようにする		
49	総合 本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の人と接する機会をあまり作れていないが、職員との関係は築けていると思う。安心して過ごせるよう、各利用者が何を望まれているのか、職員同士で話し合ったり、思いを受けとめるように努めている。	日々の生活の中で分らないことがあれば職員に聞ける環境 地域の人々との関係づくりが課題		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない